

Project Q 6

Young Quartets Challenge to Play Haydn
Complete Haydn "Erdödy Quartets"

主催: プロジェクトQ実行委員会
協力: 財団法人 日本音楽財団 (日本財団助成事業)
GOETHE-INSTITUT JAPAN ドイツ文化センター
助成: 財団法人 野村国際文化財団
財団法人 ローム ミュージック ファンデーション
制作: テレビマンユニオン

日本音楽財団
NIPPON MUSIC FOUNDATION

GOETHE-INSTITUT
JAPAN
ドイツ文化センター

野村国際文化財団

Rohm Music
Foundation
ロームミュージックファンデーション

PROJECT Q chapter 6

ハイドン没後200年 弦楽四重奏の父と称えられるハイドンは生涯に80曲余の弦楽四重奏曲を作曲したと言われている。初めて弦楽四重奏という様式を生み出し、その作品が好評を得ることに勇気づけられ、次々と弦楽四重奏曲を作曲していくのである。ハイドンに啓発され、モーツァルトが作曲した弦楽四重奏曲は23曲、その中にはハイドンに献呈された「ハイドン四重奏曲」が含まれる。続くベートーヴェンが16曲の弦楽四重奏曲に取り組み、さらなる深遠な世界を切り開き、芸術性を究極に高めていく。その後も、シューベルト、メンデルスゾーン、シューマン、ブラームス、チャイコフスキー、ショスタコーヴィチ、バルトークといった後続の偉大な作曲家たちが、このジャンルを自己の探求の題材とし、力を注いできた。プロジェクトQは第6章に入り「ハイドン」という原点に立つ。200年以上も前に誕生した「弦楽四重奏」の珠玉の作品群を、日本を担う若手たちが現代にどのように甦らせるのか。大いに期待したい。

プロジェクトQ [第6章] 若いクアルテット、 ハイドンに挑戦する

ハイドン:「エルデーディ四重奏曲」全曲演奏会① | 2009年2月15日(日) 13:00開演

ハイドン:「エルデーディ四重奏曲」全曲演奏会② | 2009年2月15日(日) 18:00開演

トライアル・コンサート | 2009年1月10日(土)/11日(日)/12日(月祝) 各回とも11:00開演

会場◎紀尾井小ホール

- チケット: 2月15日 | 各回2000円(全席自由・11/1(土)一般発売開始) / 1月10日~12日 | 料金100円以上(全席自由/前売りなし/終演時払い)
- お申し込み: 紀尾井ホールチケットセンター | 03-3237-0061(10→18時/日・祝休)
電子チケットびあ | <http://pia.jp/t> | 0570-02-9999(Pコード:307-406)

「プロジェクトQ」は、若いクアルテットの発掘と育成を目的とした日本におけるクアルテット振興プロジェクトです。これまで、2001年度ベートーヴェン全曲(17曲/11組参加)、2002-2003年度バルトーク全曲(6曲/6組参加)、2005年度シューマン&ブラームス全曲(6曲/6組参加)、2006年度モーツァルト「ハイドン四重奏曲」全曲(6曲/6組参加)、2007年ベートーヴェン作品18全曲(6曲/6組参加)に取り組んできました。そして2008年度は、2009年に没後200年を迎える、弦楽四重奏の父とも呼ばれるハイドンをテーマに開催します。

2008年9月からマンデルリング・クアルテット、原田幸一郎、原田禎夫、ジャン＝ギアン・ケラス、ベルリン弦楽四重奏団、ゲヴァートハウス弦楽四重奏団を講師に公開マスタークラスを実施。そして1月のトライアル・コンサートを経て、いよいよ2月15日にハイドン「エルデーディ四重奏曲」全曲演奏会でその成果を発表致します。21世紀を担う若いクアルテットたちの挑戦にどうぞご期待ください。

ハイドン:「エルデーディ四重奏曲」全曲演奏会①

2009年2月15日(日) 13:00開演 [12:30開場] | 紀尾井小ホール

弦楽四重奏曲 第75番 ト長調 作品76-1	グリュック・クアルテット
弦楽四重奏曲 第76番 二短調「五度」作品76-2	ラジッド・クアルテット
弦楽四重奏曲 第77番 ハ長調「皇帝」作品76-3	アミティエ弦楽四重奏団

ハイドン:「エルデーディ四重奏曲」全曲演奏会②

2009年2月15日(日) 18:00開演 [17:30開場] | 紀尾井小ホール

弦楽四重奏曲 第78番 変ロ長調「日の出」作品76-4	クアルテット・パナシェ
弦楽四重奏曲 第79番 二長調「ラルゴ」作品76-5	ステラ・クアルテット
弦楽四重奏曲 第80番 変ホ長調 作品76-6	ヴェーゼン・クアルテット

- チケット:各回2000円(全席自由) 11/1(土)一般発売開始
- お申し込み:◎紀尾井ホールチケットセンター:03-3237-0061(10-18時/日・祝休)
◎電子チケットぴあ: <http://pia.jp/t> | 0570-02-9999(コード:307-406)

トライアル・コンサート

11:00開演 [10:30開場] | 公演時間:約1時間 | 紀尾井小ホール

2009年1月10日(土)	弦楽四重奏曲 第75番 ト長調 作品76-1	グリュック・クアルテット
	弦楽四重奏曲 第80番 変ホ長調 作品76-6	ヴェーゼン・クアルテット
2009年1月11日(日)	弦楽四重奏曲 第77番 ハ長調「皇帝」作品76-3	アミティエ弦楽四重奏団
	弦楽四重奏曲 第78番 変ロ長調「日の出」作品76-4	クアルテット・パナシェ
2009年1月12日(月・祝)	弦楽四重奏曲 第76番 二短調「五度」作品76-2	ラジッド・クアルテット
	弦楽四重奏曲 第79番 二長調「ラルゴ」作品76-5	ステラ・クアルテット

- 料金100円以上(全席自由/前売りなし/終演時払い)

*演奏曲順・出演日等は変更になる場合がございますので何卒ご了承ください。

アドバイザー
原田幸一郎

プロジェクトQ実行委員会
実行委員長:原田幸一郎
実行委員:安生慶 今井信子 大木恵子 川崎雅夫 菅沼準二 原田禎夫

主催:プロジェクトQ実行委員会
協力:財団法人 日本音楽財団(日本財団助成事業)
GOETHE-INSTITUT JAPAN ドイツ文化センター
助成:財団法人 野村国際文化財団
財団法人 ローム ミュージック ファンデーション
制作:テレビマンユニオン



- 四谷駅(JR 有楽町線・丸の内線・南北線) 御町口徒歩8分
- 御町駅2番出口(有楽町線) 徒歩8分
- 赤坂見附駅D出口(銀座線・丸の内線) 徒歩8分
- 永田町駅7番出口(半蔵門線・有楽町線) 徒歩8分

PROFILES

グリュック・クアルテット | Gluck Quartet

原瀬万梨子/大久保 慧(ヴァイオリン) 鶴 友見(ヴィオラ) 村上咲依子(チェロ)



2006年大学入学と同時に結成。メンバーは国立音楽大学演奏学科弦管打楽器専修第3年在学中。現在、同大学室内コースにて、徳永二男、漆原啓子に師事。Gluckとはドイツ語で「幸せ」や「運命」という意味。この4人で一緒に音楽を作り上げる喜びや楽しさをいつも忘れずに演奏したいという願いを込めて。

ラジッド・クアルテット | Rugged Quartet

川又明日香/三原久遠(ヴァイオリン) 鏡 顕(ヴィオラ) 吉岡知広(チェロ)



2005年結成。2006年・2007年桐朋学園富山室内楽講座にて、東京クアルテット、原田幸一郎、毛利伯郎、藤原浜雄に師事。選抜受講生による第11回桐朋学園大学室内楽演奏会、第75・77回桐朋学園室内楽演奏会に出演。プロジェクトQ・第4章、第5章に参加し、高い集中力とアンサンブルが評価を得ている。

アミティエ弦楽四重奏団 | Amitie String Quartet

小林美樹/福田悠一郎(ヴァイオリン) 会田莉凡(ヴィオラ) 上村文乃(チェロ)



2007年桐朋学園高校2年生の仲間同士で結成。アミティエ(Amitie)とは、「友情」「友愛」という意味のフランス語。普段は別々に師事しているが、室内楽に関しては原田幸一郎から多くを学ぶ。富山室内楽講座では、東京クアルテットのメンバー、毛利伯郎、加藤知子、また2008年には岩崎崎から指導を受ける。

クアルテット・パナシェ | Quartet Panaché

東 珠子/渡辺明日香(ヴァイオリン) 江口純子(ヴィオラ) 佐藤 晋(チェロ)



2008年春結成。プロジェクトQ・第4章参加の2名を含む、京都市立芸術大学3、4回生で構成。「Phoenix OSAQA 2008」、学内外の演奏会等に参加。「panaché」とは、仏語で「色とりどりの意。個々から湧き出る感性を尊重しながら、自由に奏するという気持ちを込めた。久合田緑、上村昇、四方恭子に師事。

ステラ・クアルテット | Stella Quartet

瀧村依里/上敷領藍子(ヴァイオリン) 原 裕子(ヴィオラ) 木下通子(チェロ)



2003年結成。プロジェクトQ、JTが育てるアンサンブルシリーズ、芸大室内楽定期、軽井沢八月祭などに出演。ヴィオラスペース公開マスタークラス受講。リゾナーレ室内楽セミナーにて緑の風奨励賞、ハイドン賞受賞。菅沼準二、岡山潔、山崎伸子、松原勝也に師事。メンバーは東京芸術大学附属音楽高校を経て現在同大学4年。

ヴェーゼン・クアルテット | Wesen Quartet

福岡雄也/田淵彩華(ヴァイオリン) 千原正裕(ヴィオラ) 加藤文枝(チェロ)



2006年大学の室内楽の授業で結成する。今年メンバー交代を経て、新たな音楽創りのため日々切磋琢磨している。今後もコンサート等の経験を重ね、音楽的にも人間的にも成長していきたいと意欲に燃える。メンバーは東京芸術大学並びに大学院に所属。東京芸術大学木曜コンサートに出演。室内楽を山崎伸子、松原勝也に師事。